

●緑区役所の主な取組

緑区役所では、令和元年度緑区政運営方針において、「次世代につなぐ みんなにやさしいまち～「ふるさと みどり」」を基本目標とし、その達成に向けた施策として、「安全・安心なまち」、「いきいき暮らせるまち」、「みどりの魅力あふれるまち」の3つの柱を掲げました。第3期みどりのわ・ささえ愛プランについても、区政運営方針に位置づけて進めています。今年度の主な新規事業を中心に実施状況を紹介します。

1 安全・安心なまち

(1) 災害に強いまちづくり

地域防災拠点運営委員会等において避難所開設に係る図上訓練（HUG 訓練）を実施しました（5回）。訓練を通して、災害時要援護者に配慮をしながら生活空間の配分を考え、部屋割りから仮設トイレの配置、炊き出しの場所などを設定していくことについて、参加者が議論や話し合いを行う中で、ゲーム感覚で避難所運営を学びました。

(2) 安全・安心な環境づくり

通学路の安全対策について、区内の16小学校においてスクールゾーン対策協議会を実施しました。また、令和元年5月に滋賀県大津市で発生した交通事故を受けて、本市では、保育園児等の散歩コースについて緊急点検を実施しました。今後、点検結果を踏まえて対応を進めていく予定です。

(3) 暮らしの衛生の推進

災害時のペットとの同行避難について、飼い主向けペット防災啓発講演会（6月）の開催や地域防災拠点運営訓練での啓発を行いました。引き続き、同行避難の重要性を伝える機会をもっていきます。

2 いきいき暮らせるまち

(1) 第3期「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進

区制50周年記念事業として、シンガーソングライターの大島花子さんをお招きし、「緑区地域福祉保健計画 みどりのわ・ささえ愛プラン特別講演会」を開催しました。家族の絆や人と人のつながりの大切さ、命の貴さ、そして、次世代に伝え残していくことをテーマに、長年地域福祉に携わってきた方への感謝の意を表すとともに、これからの「緑区の福祉」を担う方々の心に響く講演会になりました。



(2) 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援

過年度から引き続き、関係機関・団体とのネットワークの活性化を図る「みどり子育て支援連絡会」（2回）、児童虐待防止に向けた要保護児童対策地域協議会の実務者会議（1回）、地区別連絡会（1回×4地区）を開催するとともに、区内の区民利用施設等にご協力いただき「赤ちゃんの駅」を追加指定（19か所追加）するなど、地域全体で子育てを見守り支える環境づくりを進めました。

(3) 地域における青少年の育成（子どもたちの地域社会への参画と体験の場づくり）

緑区制50周年に関連して区内小中学校の代表児童・生徒による「夢みどりリーダー会議」において、昨年度子どもたちが魅力的に思う地域のスポットについてマップを作成しました。今年度はそのスポットに50周年記念プレートを設置しました。プレートは児童・生徒が考えた未来の緑区へのメッセージをいれて作成しました。



(4) 高齢者・障害者施策の推進

地域包括ケアシステムの構築の検討・推進として、医療機関や介護事業所等に従事する人材の育成を目的に、多職種4連絡会主催合同研修（「看護職・セラピスト・ケアマネジャー・介護職のためのアンガーマネジメント」）の後方支援、ケアマネジャー向け介護予防スキルアップ研修、在宅におけるチーム医療を担う人材

育成研修（「専門職相互の視点から在宅療養を支えるための連携を考える」）などを実施し、参加者のスキルアップや顔の見える関係の構築を推進しました。

介護予防活動について、今年度は、新たに6か所の元気づくりステーション（東本郷、山下、十日市場団地、霧が丘、長津田地区）が立ち上がりました。

元気づくりステーション Mr.クッキング（山下地区）▶



(5) 生涯にわたる健康づくりの推進

地域における生活習慣病予防の取組として、子育て支援拠点や子育てサロン・サークル等で健康チェック等啓発事業を実施し、区役所開催の事業には参加しづらい若年層にも啓発を行うことができました。

また、「食」を通じた健康づくりを推進するために、食育月間（6月）にあわせたイベント（講演会開催等）を行いました。また、「食育 SAT システム」を活用した体験型食育講座を小中学校で実施したり、乳幼児健診実施日にあわせて実施するなど、若年層へのアプローチを進めました。

(6) 暮らしのなかのセーフティネット

民生委員・児童委員によるひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業の対象者について、従来の75歳以上のひとり暮らし高齢者に新規になられた方に加えて、75歳以上の高齢者のみで構成される世帯も対象となり、地域での見守り活動が進められています。また、令和元年12月1日付で民生委員・児童委員及び主任児童委員の改選も行われ、新たな任期がスタートしました。新任の委員に対しては研修会を開催し、区及び区社協の事業説明を実施しました。

3 みどりの魅力あふれるまち

(1) 区制50周年プロジェクト

緑区は令和元年10月に区制50周年を迎えました。実行委員会主催の記念事業として、「子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori」、記念式典、的川泰宜 JAXA 名誉教授の講演会、緑区民まつり、「わらアート」イベントを実施しました。また、平成31年1月から引き続き、緑区今昔写真展の開催や、出生や婚姻の届出時のお祝いメッセージカードを配布する他、「みどりのわ・ささえ愛プラン」特別講演会、区制50周年記念中学生合唱団コンサート、小中学生による壁画作成、区民の皆様との街路樹植樹、小学生デザインのマンホールの設置等を行い、緑区制50周年を区民の皆様と一緒にお祝いしました。



◀ わらアート

デザインマンホール（新治小学校）▶



(2) スポーツを通じた地域づくり

スポーツ推進委員や緑区体育協会の活動支援を行いました。また、両団体等の協力も得ながら、様々なスポーツイベントを開催し、特にラグビーワールドカップ2019の開催に向けては、元日本代表選手の平尾剛氏を招いたイベント開催や中山商店街が作成した大会PRフラッグの掲出支援を行いました。そして、「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催に向けては、競技種目の一つであるフェンシングの体験会やオリンピックの開催理念啓発のため人権啓発講演会を開催しました。

(3) 環境行動の推進

外国籍住民に対してごみの分別啓発を行うため、過年度から引き続き、霧が丘地区で地域団体、事業者と連携し、外国籍住民向けの説明会を開催しました。

(4) 地域力の推進と市民活動の支援

地域活動に携わる人材の「発掘」「育成」を目的とした講座「みどり「ひと・まち」スクール」を開催し、地域活動に関心のある区民を対象に地域課題解決に向けた「夢プラン」（具体的な活動プラン）を作成しました。